

京都大学人文科学研究所新型コロナウイルス感染防止などの行動自粛にと
なう共同利用・共同研究拠点企画報告書

1. 国際研究ミーティングの名称

「現代の論点:生きるための人文学」第1シリーズ(全3回)

「国際研究ミーティング」ではなく「オンライン連続セミナー」

2. 主宰責任者氏名

松井 茂(情報科学芸術大学院大学准教授)

3. 開催日時等およびプログラム(講演者名または報告者名を明記してください)

① 歴史学から考える新型コロナウイルス 藤原辰史 & 直野章子

② コロナ危機下の欧州 遠藤乾(北海道大学教授) & 小関隆

③ コロナ時代の未来の音楽 岡田暁生 & 三輪真弘(情報科学芸術大学院大学学長)

全3回ともに 2020 年 11 月 26 日に YouTube で公開

4. 概要(400 字程度)

全3回とも、新型コロナウイルスの感染拡大という大状況の中で人文学的思考がいかなるレゾンデートルを主張できるか、を課題意識として共有している。第1回は現下のコロナ禍を歴史的なパースペクティブの中でどう捉えるか、を、第2回は EU 諸国および EU を離脱したイギリスでコロナ禍へのいかなる対応が進められているか、を、第3回は人が集まること自体が難しいコロナ時代における芸術とりわけ音楽の在り方をどう構想するか、を主題とした。収録した講演および討論の映像をそのまま放映するのではなく、YouTube での公開に先立って、映像メディアの専門家によって編集し、さらに音楽を添えるなど、「作品」と呼びうる水準に仕上げることに意を尽くした。今後も同様の企画が続き、「生きるための人文学」を掲げる人文研の存在を広く社会に知らしめることに期待したい。

5. 参加者(別紙「参加状況」も記載してください。)

YouTube での公開のため、「参加者」は特定しがたい。したがって、別紙も空白とする。

6. 助成金の使途等

申請書のとおり

7.その他(成果や今後の展開等、自由に記載してください)

4で記した通り、今後も同様の企画が第2、第3シリーズとして継続されることが期待される。

参加状況

区分	機関数	参加人数					延べ人数				
		総計	海外研究者	40歳未満	35歳以下	大学院生	総計	海外研究者	40歳未満	35歳以下	大学院生
学内(法人内)		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
国立大学		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
公立大学		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
私立大学		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
大学共同利用機関法人		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
独立行政法人等公的研究機関		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
民間機関		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
外国機関		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
その他		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
学外 計											
計		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
【その他の参加状況】											

※本務所属が海外の研究機関である研究者

※()内には、女性数を記載

※受入機関、受入人数、延べ人数を区分に応じて記入してください。

※外国人、若手研究者(40歳未満)、若手研究者(35歳以下)、大学院生の人数はそれぞれ受入人数、延べ人数に対しての内数を記入してください。

※受入人数、延べ人数については上段に総数を下段に()で女性の内数を記入してください。

※「学内」の所属機関数は「学部数」等を記入してください。

※【その他の参加状況】には「その他」区分に計上した、具体的な所属等を記載

※受入人数及び延べ人数の算出方法は、以下の例に基づき算出してください

国際研究ミーティングに参加者2人が3回参加した:受入人数2人、延べ人数6人